

001

**VR コンテンツ「火災臨場体験 VR
～混乱のオフィス～」と
体験キットのレンタルサービス事業**

取組主体

能美防災株式会社

従業員数

想定災害

実施地域

2,635 人

全般

東京都

・オフィスビルでの火災や大地震の恐怖と、それを目の当たりにした人々の混乱の様子を体験できる VR コンテンツ「火災臨場体験 VR～混乱のオフィス～」を制作し、防災教育や防災訓練の意欲向上に寄与。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

火災や大地震の恐怖と混乱の様子を体験できる火災臨場体験 VR

- ・能美防災株式会社は、防災に関する受託実験・企画・提案、各種防災設備、システムの企画、開発、設計、施工、保守等を手掛けている。
- ・同社は、火災・災害の発生に備えた防災教育や防災訓練の効果向上のために、オフィスビルでの火災や大地震の恐怖と、人々の混乱の様子を体験できる VR コンテンツ「火災臨場体験 VR～混乱のオフィス～」を制作した。
- ・本コンテンツは、ゲーム会社と協同でエンタテインメント性も兼ね備えたものとした。細部まで作り込んだ仮想空間と、徹底した災害事象の描写によって災害時の様子をリアルに再現した。さらに、リアルに動きながら様々なセリフを発する人を多数登場させることで、災害時の混乱状態を演出した。



「火災臨場体験 VR 混乱のオフィス」使用イメージ

- ・同社は、これまで、主に火災の発生を速やかに捉え、周知・抑制する技術で社会に貢献してきた。現在は、火災・災害の発生に備えた防災教育や防災訓練の効果向上につながる取り組みも強化している。本コンテンツは、その取り組みのひとつとして制作された。VR コンテンツでの体験を通して、災害の危険性や怖さを“自分事”として捉え、防災教育や防災訓練に対する意欲を高めてもらう狙いがある。それにより、「自助」「共助」の強化に直接貢献することを目指す。
- ・さらに、注文を受け付ける専用の EC サイト「XR プラス」を立ち上げ、売上の 1% を「自助」「共助」の強化に取り組む社会貢献団体等に寄付することで、継続的な支援も行う。

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・防災意識を向上させ、正しい行動へつなげるためには、災害の危険性や怖さを認識する体験が必要となる。一方で、そうした体験を正面から行うと、「恐怖心」や「とっつきにくさ」を感じさせることもある。このような心理的なハードルを低減させ、「やってみたい」という気持ちを想起させることが重要となる。本コンテンツの提供を通じて、「社内防災訓練への参加率が低い」、「社員への防災教育の機会が限られている」など、企業の防災・安全担当者が抱えるさまざまな困りごとを解決している。
- ・同コンテンツを活用した防災教育の効果向上のために、シーンごとに学びのポイントを明記した「振り返り資料」も提供している。特別支援学校（高等部）での防災教育プログラムとしても活用されており、子どもたちへの防災教育の充実や防災担当教員の授業運営の支援にも寄与している。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・現状の VR 体験は、定められたシナリオ（流れ）に乗った範囲内でプレイヤーの意思決定による避難行動を可能としているが、今後はプレイヤーの意思決定によってシナリオが変わる（分岐する）形にする。
- ・より緊迫感のある災害体験に近づけるための工夫を加えることで、“忘れられない災害の恐怖体験”に近づける。

国土強靱化

- ・没入感の高いVR体験は、個人体験に留まってしまうことから、将来的には複数での同時体験を実現する。
- ・子どもでも制約なく体験でき、効果的に学ぶことができるコンテンツ（現在は使用機材のスペックの問題で13歳未満の子どもの体験に制限がある）や、防災設備の使用方法を学べる教育コンテンツもラインナップに組み込む。

4 周囲の声

- ・実際に経験できないような体験ができた。百聞は一見に如かず。ぜひ多くの人に体験してもらいたい。（VR体験顧客）
- ・実際に災害に遭遇したときの対応を考えておくことの必要性を感じ、意識を改めようと思った。（VR体験顧客）
- ・かなりリアルな体験ができた。周囲の人からの会話がいろいろな方向から聴こえてくるが、それが臨場感を高めている。（VR体験顧客）
- ・状況がリアリティをもって再現されており、避難の疑似体験ができて非常に有用である。（消防職員）
- ・訓練指導では、姿勢を低くして誘導灯を頼りに避難するように説明しているが、それを体感できることは効果的である。（消防職員）

担当者の声

「火災臨場体験 VR～混乱のオフィス～」は、最初の社内提案から10年、3度の提案を経てようやく実現したものです（その経緯は、PR TIMES STORY 「10年で3回の提案を経て実現！震災の復興支援活動がきっかけになった「火災臨場体験 VR」立ち上げ秘話 (<https://prtimes.jp/story/detail/wrV77XteVVb>)」をご覧ください）。より多くの方々に体験してもらおうとともに、この先もブラッシュアップを重ねていくことで、防災意識向上に寄与する効果的な取り組みに高めていきます。さらには、子どもたちにも制約なく、楽しく学ぶことができるコンテンツもラインナップに加えていくことによって、子どもたち自身はもちろんのこと、その周りにいる大人たちへの防災意識向上に貢献していきたいと考えています。これらの取り組みを強化・推進していくことで、能美防災が約100年にわたって対峙してきた“火災”はもちろんのこと、地球温暖化の影響による豪雨災害、発生確率の高まる大規模な地震など、“あらゆる災害”の脅威に屈しない「安全・安心な社会」の実現に貢献していきます。

問合せ先

能美防災株式会社 法人番号：5010001008739
TEL：03-3265-0218 E-Mail：a_sasaki@nohmi.co.jp

動画



サイトURL

